

第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会放送部門
(第46回九州高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会福岡大会)

実施要項

- 1 目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望を持つ人間としての成長をめざし、あわせて九州地区における校内放送活動の健全な育成と放送教育の推進をはかる。
- 2 ねらい (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて、話す力、表現する力を高める。
 (2) 校内マスコミの送り手としての自覚と創造性を育てる。
 (3) 学校生活の中におけるおいをもたらし、心のふれあいの場をつくる。
 (4) 現代社会における人としてのあり方、生き方を学ぶとともに、放送のはたす役割を考える。
 (5) 九州地区における校内放送活動の向上をはかる場をつくる。
- 3 主催 九州高等学校文化連盟 福岡県高等学校芸術・文化連盟
- 4 共催 NHK福岡放送局 NHK北九州放送局
- 5 主管 九州高等学校文化連盟放送専門部 福岡県高等学校芸術・文化連盟放送文化専門部
- 6 参加資格 (1) 開催年の12月現在、九州各県高等学校文化連盟加盟校に在学する生徒(ただし高等学校最終学年及びそれに該当する学年を除く)。また、以上の生徒が制作した作品に限る。
 (2) 各部門への参加は、各県高等学校文化連盟放送専門部の推薦によるものとする。
 (3) アナウンス・朗読部門への参加は、1名1部門とする。
 (4) 番組部門への参加は、1校1作品とする。ただし各県大会については、その限りではない。他のコンテストに出品した作品は、本大会に参加できない。また、本大会に出品した作品を、他のコンテスト等へ出品することは認めない。
- 7 日時 令和6年12月13日(金)～15日(日)
 会場 福岡工業大学FITホール 他
 〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
 TEL 092-606-3131

8 表彰

	アナウンス	朗 読	ラジオ番組	テレビ番組
優 勝	1名	1名	1作品	1作品
	優勝杯, 賞状			
準優勝	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー, 賞状			
第3位	1名	1名	1作品	1作品
	トロフィー, 賞状			
優良賞	各部門決勝進出17名程度		各部門決勝進出7作品	
	賞状			
奨励賞			各部門5作品程度	
			賞状	
入賞(全参加者)	全エントリー			
	賞状			

- 9 事務局 福岡県立鞍手高等学校 中山 英治(放送文化部門専門委員長)
 〒822-0034 福岡県直方市山部810-7 TEL 0949-22-0369 FAX 0949-22-0370
 E-mail amayakan_e@yahoo.co.jp
- 10 問合せ先 福岡県立八幡高等学校 廣濱 一郎(放送文化部門事務局長)
 〒805-0034 北九州市八幡東区清田3丁目1-1 TEL 093-651-0035 FAX 093-651-8101
 E-mail fukuoka.hight-bc@outlook.com

11 日程詳細

日	時間	概要	会場
13 (金)	13:00～14:00	総合開会式	※福岡市民会館
	13:00～16:40	放送部門受付	FITホール3Fロビー
	15:30～	運営委員会（開催県・各県代表）	3階大研修室1
		審査委員会	3階大研修室1
14 (土)	9:00～ 9:30	放送部門受付（12/13未受付分）	FITホール3Fロビー
	9:05～ 9:25	開会行事 開会のことば 主催者挨拶 来賓挨拶 審査員紹介 優勝杯返還・レプリカ授与 諸連絡	FITホール
	9:40～12:50	アナウンス部門準決勝	FITホール
	9:50～17:00	ラジオ番組部門準決勝	FITホール2Fセミナー室4～5
	9:50～17:00	テレビ番組部門準決勝	FITホール2Fセミナー室1～2
	13:20～	朗読部門準決勝 校内放送活動研究集会①	FITホール
	8:00	決勝進出者・決勝進出作品発表	大会ホームページで発表 会場後、会場入り口掲示
15 (日)	9:00～9:20	決勝出場受付	FITホール3Fロビー
	9:50～10:50	アナウンス部門決勝	FITホール
	9:50～12:00	ラジオ番組部門決勝	FITホール2Fセミナー室4～5
	9:50～12:00	テレビ番組部門決勝	FITホール2Fセミナー室1～2
	11:00～12:10	朗読部門決勝	FITホール
	12:20～12:50	講評（校内放送活動研究集会②）	FITホール
	13:00～13:40	閉会行事 成績発表・表彰 主催者挨拶 次期開催県挨拶（沖縄県） 閉会のことば 諸連絡	FITホール
		各種配布（賞状・講評用紙）	FITホール3Fロビー

12 コンテスト実施各部門ならびにエントリー数

部門	エントリー数	決勝進出数
アナウンス	68名（各県8名 但し福岡、開催県は12名）	20名程度
朗読	68名（各県8名 但し福岡、開催県は12名）	20名程度
ラジオ番組	40作品（各県5作品）	10作品
テレビ番組	40作品（各県5作品）	10作品

13 校内放送活動研究集会

各部門についての講評及び研修と九州各県高校放送部活動の報告などを実施し、文化交流を深める。

14 各部門の課題・参加規定

(1) アナウンス部門

- ① 自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。
- ② エントリー番号、氏名を含め、1分10秒以上、1分30秒以内でアナウンスする。

※学校名は読まず、エントリー番号の後にすぐ氏名を読む。

③ 審査基準

(A) 校内放送に使用する内容であること。

(B) 審査の視点

◆内容

(ア) 素材の選び方は適当であるか。

(イ) 文章表現は適当であるか。

◆アナウンスの技術

(ア) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスしているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・歌い上げ・作り声など、不自然なアナウンスは高く評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(C) 100点法で総合的に採点する。

(2) 朗読部門

- ① 次の指定課題4作品から1作品を選び、朗読する。作品の脚色は一切認めない。

作品番号	1	2	3	4
書名	或る「小倉日記」伝	読書の森で寝転んで	コンビニ兄弟	車輪の下
著者名 (訳者名)	松本 清張	葉室 麟	町田 そのこ	ヘルマン・ヘッセ (実吉 捷郎)
出版社	新潮文庫	文春文庫	新潮文庫	岩波文庫

- ② エントリー番号、氏名、作者名、作品名を含め、1分30秒以上 2分00秒以内で朗読する。

※学校名は読まず、エントリー番号に続けて、氏名・作者名・作品名を読む。

※抽出は文頭から開始し、文末で終了すること。一文途中の開始や終了は「改変したもの」とみなす。

※本文中の（ ）も読むこと（ただし、読み仮名、注釈を除く）。

※作品番号1については、作品名として選んだ短編名を読む。

※作品番号4の著者名は「ヘルマン ヘッセ」と読むこと

③ 審査基準

(A) 審査の視点

◆内容

(ア) 作品の選定は適当であるか。

(イ) 朗読として適切な部分を抽出しているか。

◆朗読の技術

(ア) 自然な発声で、場面や心情が聞き手に伝わるように朗読しているか。

・発声 ・発音 ・マイクの使い方

・演劇調など、過度に演出されているものは評価しない。

(イ) 意味を正しく伝える抑揚表現ができていないか。

・内容把握 ・プロミネンス ・アクセント ・イントネーション

(ウ) 間（ポーズ）は適切か。

・テンポ ・ポーズ

(B) 100点法で総合的に採点する。

(3) アナウンス・朗読に共通する事項

- ① 原稿3部を、後述の「15参加申込/各部門提出物/締切一覧」で指定した期日までに提出する。ただし、原稿は返却しない。
- ② 規定の用紙(様式1-1, 1-2)を使用し、袋とじ(仕上りA5判)とする。第1頁を表紙とし、本文は、第2頁以降に

記入する。表紙の部門名上部の○を指定の色で塗りつぶす。アナウンスは「青」、朗読は「赤」とする。

- ③ 準決勝・決勝ともに、各自の原稿に、大会パンフレット記載の「課題原稿」を加えて発表する。
- (4) ラジオ番組部門
- ① 作品は、6分30秒以上、7分00秒以内とする。
 - ② 作品の最後に「制作は〇〇高校放送部(委員会)でした」とクレジットコールを入れる。
 - ③ クレジットコールには、BGM・SEなど他の音声重なってはいけない。
 - ④ 作品の前後に2秒のブランク(無音)を入れること。
 - ⑤ 計時は、最初の音からクレジットコールの終わりまでとする。
 - ⑥ 作品は、指定された様式に「学校名」「作品名」を入れた静止画を貼り付けた動画(mp4)形式とする。
 - ⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「赤」で塗りつぶす。
 - ⑧ 作品データは、大会実行委員会が定めたYouTubeチャンネルに定められた期日までにアップロードする。それが困難な場合は、ディスクやUSBメモリなどに作品データを保存・コピーして郵送する。
 - ⑨ 作品データ・番組進行表は返却しない。
- (5) テレビ番組部門
- ① 作品は、7分30秒以上、8分00秒以内とする。
 - ② アスペクト比は、16:9(ワイド)とする。
 - ③ テレビ局等の第三者が撮影した素材を主とする作品は、失格とする。
 - ④ 作品の前後5秒間に、規定のテストパターン(様式2)を入れる。
 - ⑤ 計時は、テストパターン(カラーバー)を除いた本編部分について行う。
 - ⑥ 作品はMpeg4/H.264AVCのデータ形式とする。なお、解像度は1080Pまで、作品データの容量は最大1GB程度とする。
 - ⑦ 番組進行表の表紙上部の○枠は「青」で塗りつぶす。
 - ⑧ 作品データは、大会実行委員会が定めたYouTubeチャンネルに定められた期日までにアップロードする。それが困難な場合は、ディスクやUSBメモリなどに作品データを保存・コピーして郵送する。
 - ⑨ 作品データ・番組進行表は返却しない。
- (6) ラジオ番組・テレビ番組に共通する事項
- ① 高校生活に素材を求めた作品、あるいは高校生活と地域社会とのかかわりを考えた作品で、高校生の視点で描いた独創的な作品であり、それぞれのメディアの特性を生かした作品とする。ドラマ調の場合、出演者は自校生徒、かつ前述の「6 参加資格」の条件を全て満たす者に限る。
 - ② 審査基準
 - (A) 校内放送に使用できる内容であること
 - (B) 審査の視点
 - ◆テーマ(伝えたい内容)
高校生ならではの視点で、高校生を取り巻く環境の中からテーマを設定し、それを番組の中で効果的に表現しているか。
 - ◆制作技術
 - (ア)メディア選択 (イ)制作方法 (ウ)取材の方法や努力 (エ)企画・構成
 - (オ)演出・編集 (カ)音声や効果音の使い方 (キ)内容伝達力 (ク)番組進行表の作成
 - (C) 100点法で総合的に採点する。
 - ③ 作品のタイトルは、副題も含めて15文字以内を厳守する。
※作品名が英数字のみの場合は、半角文字で最大30文字(スペース含む)までとする。
 - ④ 番組進行表は、後述の「18 様式規定」で作成し、「15 参加申込/各部門提出物/締切一覧」で指定した期日までに1部を提出する。
 - 1頁(様式3-1) 学校名・作品名・時間・制作意図(200字程度)・スタッフ/キャスト(学年)
 - 2頁(様式3-2) 必要枚数を綴じ合わせたCUEシート
 - 3頁(様式3-3) 使用著作物一覧※必要に応じ、音源使用許諾(様式3-4)・取材許諾・著作物提供許諾(様式3-5)を添付する。
※必要に応じ、著作権処理確認資料(右上に著作物番号を朱書きする)を添付する。
 - ⑤ 作品の中で用いる音楽・絵画・写真等の著作権を伴う著作物については、著作権・著作隣接権の処理を本大会開始までに確実に済ませておく。特に音楽は、自作自演もしくは著作権フリーの楽曲を用いることが望ましい。著作権を伴う著作物については、一覧を番組進行表の末尾に添付する。

- ⑥ なお、著作権フリー素材とインターネット上の素材の使用については、NHK杯番組部門制作関連資料で定めたものと同じとする。
- ⑦ JASRAC への手続きと支払いは出場校が行い、関係書類のコピーを番組進行表の末尾に添付する。
- ⑧ 参加作品の著作権は、制作者(応募した学校)に帰属する。
- ⑨ 著作物使用等の許諾に関する詳細については、NHK杯要項p.17とNHK杯番組部門制作関連資料の注意事項に準じる。
- ⑩ 様式等については、本大会規定のものを使用する。
- ⑪ 本大会に出品するラジオ番組・テレビ番組の制作意図(番組進行表に記載)は、各県事務局が規定のファイルにまとめて入力し、後述の「15 参加申込/各部門提出物/締切一覧」で指定した期日までに提出する。
- ⑫ 発表に際しては作品再生前に代表生徒が登壇し、学校名と作品名を紹介する。

15 参加申込/各部門提出物/締切一覧

- (1) 参加申込など全ての事前提出は、下表に基づいて行う。
- (2) 参加申込には、別紙のエントリー番号を使用する。番号の割り振りは、各県専門部で行う。
- (3) 参加校顧問…下記の①～⑦を、指定の宛先に提出(データ送信/郵送/振込)する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ 送信	郵送	
①	学校参加申込データ*	放送部門実行委員会*	○		11/15 (金)
②	エントリーデータ	各県放送専門部事務局	○		11/18 (月)
③	アナウンス・朗読原稿3部/番組進行表1部	各県放送専門部事務局		○	各県指定日
④	番組制作意図データ	各県放送専門部事務局	○		11/20 (水)
⑤	全部門共通参加申込書(共通様式2)	各県高文連事務局		○	11/8 (金)
⑥	宿泊・弁当代金納入	業者指定口座		口座振込	業者指定日
⑦	ラジオ・テレビ番組作品データ	各県放送専門部事務局	△	△	各県指定日
【備考】 *①「学校参加申込」は、出場権獲得校の出場意志の表明/確認等に利用する。 *①の宛先(放送部門実行委員会)は、1ページの「問合わせ先」とする。 *⑦の提出方法については、各県放送専門部事務局の指示に従う。					

- (4) 各県放送専門部事務局担当者…下記8から11を指定の宛先に提出(データ送信/郵送)する。

	内容・様式	宛先	提出方法		提出締切 (必着)
			データ 送信	郵送	
⑧	全九州高校総文祭推薦書(共通様式1)*	各県高文連事務局	○		各県指定日
⑨	ラジオ・テレビ番組作品データ	放送部門実行委員会*	○		12/5 (木)
⑩	エントリーデータ(〇〇県)	放送部門実行委員会*	○		11/20 (水)
⑪	番組制作意図データ(〇〇県)	放送部門実行委員会*	○		11/22 (金)
⑫	アナウンス・朗読原稿/番組進行表(〇〇県)	放送部門実行委員会*		○	12/4 (水)
【備考】 *⑧の提出→各県高文連から出場校に派遣依頼を送付→⑤の提出→開催県高文連が取りまとめる。 *⑨番組作品データは、放送部門実行委員会の指定したYouTubeチャンネルにアップロードして提出する。 *⑨⑩⑪⑫の宛先(放送部門実行委員会)は、1ページの「問合わせ先」とする。					

16 宿泊等申込について

全九州高等学校総合文化祭事務局設置の宿泊サポート
 名鉄観光サービス株式会社 福岡支店
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5 (紙与博多ビル内)
 TEL 092-451-8811 FAX 092-432-3600
 担当: 伊東, 岡田, 小林

17 エントリー番号一覧

県名	アナウンス	朗読	ラジオ番組	テレビ番組
福岡	3 9 13 19 26 33 37 43 51 56 62 68	5 12 17 24 30 37 43 48 54 60 65 68	7 14 21 29 37	1 9 18 26 33
大分	8 17 25 32 39 47 55 64	2 11 20 28 34 44 51 59	4 13 19 28 63	6 14 22 30 64
佐賀	5 15 24 31 40 49 57 65	7 15 25 33 41 50 58 67	1 9 17 25 33	3 11 19 27 38
長崎	2 10 18 27 35 45 52 60	4 10 19 26 36 42 52 62	6 15 23 32 38	8 16 24 32 39
熊本	7 14 22 28 36 44 53 61	1 9 18 27 35 45 53 61	3 11 20 27 36	5 13 21 29 37
宮崎	4 16 23 34 42 50 58 66	6 13 21 31 39 47 57 66	8 16 24 31 40	2 10 17 25 34
鹿児島	1 11 20 29 38 46 54 63	3 14 22 29 40 49 55 63	5 12 22 30 39	7 15 23 31 40
沖縄	6 12 21 30 41 48 59 67	8 16 23 32 38 46 56 64	2 10 18 26 34	4 12 20 28 35

18 様式規定

	様式番号	内容
規定1 アナウンス・朗読	1-1	表紙（右頁）・原稿用紙（左頁）
	1-2	アナウンス・朗読部門 原稿用紙
規定2 テレビのみ	2	テストパターン／カラーバー
規定3 ラジオ・テレビ 番組進行表	3-1	表紙（制作意図・スタッフ・キャスト・確認欄）
	3-2	CUEシート
	3-3	使用著作物一覧
	3-4	音源使用許諾申請書（参考様式）
	3-5	取材許諾・著作物提供許諾申請書（参考様式）
*規定3は全てA4サイズ。左上1箇所をホチキスで綴じる。両面印刷不可。		
規定4 ラジオのみ	4	ラジオ音声を動画化するための「学校名」「作品名」を入れた静止画様式

*上記の規定様式は、第46回九州高校放送コンテスト公式ホームページ（開設予定）からダウンロードできます。